

事務事業評価シート

事業番号	12					
事業名	社会福祉功労者、福祉作文等入賞者表彰費	局名	健康福祉局			
		部名	福祉部			
事業開始年度	昭和57年度	課名	地域福祉課			
根拠法令等	相模原市社会福祉功労者表彰要綱、『福祉月間』ポスター・作文募集事業実施要綱	課長名	堀泰雄			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： _____） <input type="checkbox"/> 補助金（補助先： _____） <input type="checkbox"/> その他（ _____）					
	目的 (何のために)	社会福祉の推進に功労のあった者(団体を含む)や福祉作文等の入選者を表彰し、その功を讃え労をねぎらい、表彰状等を贈ることにより、福祉思想の啓発と高揚を図る。				
	対象 (誰・何を対象に)	社会福祉功労者・・・相模原市社会福祉功労者表彰要綱に該当する個人若しくは団体 福祉ポスター・福祉作文・・・相模原市在住在学の小中学生				
	事業内容 (手段・手法など)	○民生委員児童委員大会第1部社会福祉功労者表彰式として 多年にわたり民生委員及び児童委員に従事され、福祉向上に尽力された方の功績に対して表彰を行う。 ○市民福祉の集い第1部社会福祉功労者等表彰式として (1)地域社会において、福祉活動等を積極的に実践している方などの功績に対して表彰を行う。 (2)福祉月間事業の一環として募集した福祉ポスター・福祉作文(小・中学生対象)の入選者を表彰する。				
事業の必要性	○社会福祉の増進に当たって、他の模範となる行為等について顕彰することは、福祉思想の啓発と高揚を図る上で有意義である。 ○小中学生対象にポスター及び作文を募集し、表彰を行うことにより、若年層の福祉に対する意識を高め、行動に移すことを促進する。					
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		709 千円	825 千円	711 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.17 人	0.19 人	0.19 人
			概算人件費	1,235 千円	1,380 千円	1,380 千円
		嘱託職員・ 臨時職員等	従事者数	0.4 人	0.3 人	0.3 人
			概算人件費	69 千円	29 千円	31 千円
	人件費 合計		1,304 千円	1,409 千円	1,411 千円	
総事業費		2,013 千円	2,234 千円	2,122 千円		
市民一人あたりの事業費		0.00 千円	0.00 千円	0.00 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	千円	千円	千円	
	受益者負担金	千円	千円	千円	
	その他(社会福祉基金繰入金)	千円	825 千円	711 千円	
	一般財源	709 千円	千円	千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	報償費			9 千円	
	需用費			402 千円	
	印刷製本費			300 千円	
		千円			
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	社会福祉功労者表彰等被表彰者数	人	119	94	100
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	16.9	23.8	21.2
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	福祉ポスター・福祉作文参加者の増加を目指す。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	福祉ポスター・福祉作文参加者	人	1311	1954	2000
特記事項 (事業の沿革等)					
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	○福祉ポスター・福祉作文参加者を増加させるため、募集方法の工夫 ○応募が少ない福祉作文について、作文に限らず、より応募しやすく、福祉に関心を持ちやすい部門への変更等を含め、参加者を増やすための検討が必要である。				
評 価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない ・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	社会福祉の増進に当たって、他の模範となる行為等について顕彰することは、福祉思想の啓発と高揚を図る上で有意義である。また、小中学生対象にポスター等を募集し、表彰を行うことにより、若年層の福祉に対する意識を高め、行動に移すことを促進するために有益な事業である。			
H24年度 予算への反映	現状維持とする。				
経営評価委員会 による意見	●現状維持 ⇒ 見直し 表彰制度は必要なものである。若年層の意識を高めるためには、小中学生だけでなく、青年層を対象とした内容を充実する必要がある。				